

弘前歴史マップ

威 心 相 ぼくかー者バに石造ったのは、長勝寺です。中でも、
 心 御 景 堂がしてもよかったです。理由としては、中に入れたこと、
 津 軽 為 信の木像も見れたこと、その昔、屋敷を月を照らしたことで、
 6年生で行けたというおもしろい話があると思います。

・建物の場所
 弘前
 公園



天守

弘前城

弘前城は、東北で唯一の現存している天守で、江戸時代に建造された天守や櫓などが現存し国の重要文化財に指定されている。江戸時代には津軽氏が居城し弘前藩の藩庁が置かれた。弘前公園内には、たくさんのやぐらや、たくさんの門があり、どれも工夫されたつくりになっている。天守の石垣も修理も行われている。



二の丸末申櫓 (ひつじさるやぐら) 二の丸南門 (みなみもん)

オントウン

おたに

西通り

西小

三門

長勝寺

長勝寺

1528年に南部光信のお寺として、種里に建立されました。その後、光信の子孫の津軽信枚の時代の1611年に弘前城築城にあわせて現在地に参りました。2・3・6代のどの様も、初代・2代の奥方のお墓があります。本堂は、1611年に現在地に参った時に建てられたといわれています。八室からなり曹洞宗本堂と全国的にもっとも古いもの一つです。



本堂

弘前城

ねふた村



第五十九銀行本店本館

明治37年に完成した、第五十九銀行本店の建物。石づくりのように見えますが、木で建ちまわっています。天井やカーテンなどは、いまでは手に入らない高価な材料をたくさん使っている、うかよき建物です。第五十九銀行本店本館は、堀江佐吉の最高傑作と言われています。堀江佐吉は、ふつうの工事のしかたから、たぐきくしたといわれています。

ビッグバン

市役所

第五十九銀行本店本館



木村産業研究所

木村産業研究所

昭和7年(1932)に完成した建物。前川國男がはじめに設計した建物で、自分の力ですべてを作りたいと思って木村産業研究所をつくったそうです。日本でもっとも早い時期のモダニズム建築です。

最勝院五重塔

建てられた年は1667~1668年。高さは31.2m。各階の外観が違い、13階の「かえるまた(かえるのまた)」ということで、十二支が書かれています。この十二支は、角を表しており、ねずみが北、反支の馬が南です。弘前の城下町の人がかみなどでお金を出して作ったため、いよいよ作られている。お金のために作られたという説もある。

最勝院

